

ホテルや レストラン向け 省エネシステムの パイオニア的存在



株式会社ピコエイダ

節水の概念を変える 新発想の省エネ機器

地球温暖化の進行により、地球規模での水不足が顕在化している。今後の社会や企業の在り方を考えるうえで、「節水」は重要なキーワードである。

これまで節水といえば、節水コマに代表されるように「取水量を制限する」という方法が主流だった。ところが、平成19年、ピコエイダが業務厨房用の節水・省エネ機器「ECO smile joybil」を開発。蛇口の開閉等の時間的ロスを減らすため、電子装置を使って、流量ではなく時間を自動制御するシステムを採用した。これにより、厨房全体で平均10%を超える水使用量の削減に成功。一気に注目を集めた。

同社では平成16年から、大阪大学工学部との共同研究によって、厨房での水使用調査を行ってきた。「そ

堀宣副社長は話す。

もう一つジョイビットには革新的な機能がある。それは、「ムダの可視化」。モニターに目標使用量に対する達成度をリアルタイムで表示することで、使用者のモチベーションを高め、継続的な効果が期待できるのだ。コスト面でも毎月10%近い水道費削減につながり、初期投資の回収に必要な期間はわずか8か月程度と短い。発売後1年間で、老舗ホテルや飲食チェーンを筆頭に500台以上の販売実績を記録する大ヒットとなった。

豊富なデータを活かし トップランナーとして 省エネの基準に

「ムダの可視化」をさらに応用したのが、平成20年に発売した業務厨房用の水道・電気・ガス消費情報遠隔監視システム「ECOプロデューサージョイネックス」。据付の機器で、1時間ごとの水光熱使用量データを収集し、通信機器を経てデータセンタに集約される。顧客はWeb上で消費情報や適正消費量を把握でき、同社はそれらのデータから、各店舗ごとに削減計画を提案するというソリューション型サービスだ。発売間もないながら、すでに全国に店舗を持つ洋食チェーンやカラオケ店等に導入される等、好調な滑り出しを見せている。また、同年12月には、環境省・総務省などが主催の「eco japan cup 2008」にて敢闘賞を受賞。さらに大阪市都市型産業振興センターより「優秀ビジネスプ

ラン」の認定を受けるなど、同社の研究・開発に対する評価は高い。

「折りしも、世界不況の嵐が世の中を駆け巡っています。しかし、節約を商品とする当社にはむしろ大きなチャンス時期。強みでもある豊富なデータと分析力を活かし、省エネのスタンダードを作りたい」と意気込む堀副社長。一般家庭への応用や、ホテル産業が盛んで潜在力が高い中国・中近東市場への進出など、今後の可能性は果てしなく広がっている。

株式会社ピコエイダ

Company
Profile

住所 〒530-0041

大阪府大阪市北区天神橋1-15-7
クリスタルビル5F

設立 平成元年10月

資本金 3億1,990万円

従業員 13名（平成21年1月現在）

TEL 06-6882-4684

FAX 06-6882-4686



堀 宣さん
取締役副社長

主な事業内容

業務厨房給水・給湯自動制御システム、消費状況提供システムの開発・製造・販売、業務施設のトータル節水・省エネプロジェクトの企画・実施等

ISO 9001

<http://picoada.co.jp/>